

弘前大学人文社会科学部

令和5年度 地域未来創生センターフォーラム

参加
無料

申込
不要

当日参加可能

可能性

大学のフィールドワークの

市民協業時代における

さまざまな立場の人びとが
ともに学び、新しい実践を
つくっていくことを求められ
ている現代に、大学的な問
題発見型フィールドワークを
活かす方法を考えます。

令和5年
12月16日(土) 13:00-17:45

会場 弘前大学人文社会科学部 多目的ホール

〒036-8560 弘前市文京町1 弘前大学人文社会科学部棟4階

お問合せ 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター
青森県弘前市文京町1

TEL 0172-39-3198 (平日 10:15-17:00)

E-mail irrc@hirosaki-u.ac.jp

対象 一般・行政関係者・学生・高校生 (120名)

主催：弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター
地域未来創生プロジェクト

「地域研究の手段としてのフィールドワークの意義に関する多分野横断的検討」

後援：弘前市・東奥日報社・陸奥新報社

弘前大学文京キャンパス



弘前大学特定プロジェクト教育研究センター
地域未来創生センター
— Innovative Regional Research Center —

市民協業時代における大学的フィールドワークの可能性

近年、フィールドワークは社会のなかで広く認知され、多くの場所で活用されるようになってきています。一方で、行政や企業などが求めるフィールドワークと大学が求めるフィールドワークの間には観点、得たい結果、手法の点で顕著な違いがみられます。

この両者の違いを確認し、大学のフィールドワーク、人類学とその近接領域を例に大学と地域コミュニティとの関わり方の諸相を概観して、市民協業時代における大学のフィールドワークの可能性を検討します。お気軽にお越しいただき、議論にご参加下さい。

プログラム

12:30	開場	
13:00-13:10	挨拶—飯島 裕胤 (弘前大学人文社会科学部長)	
13:10-13:20	趣旨説明—葉山 茂 (弘前大学人文社会科学部・准教授)	
13:20-13:55	辻本 侑生 (弘前大学地域創生本部・助教)	学術的フィールドワークと、実務的フィールドワークのあいだを考える
13:55-14:30	近藤 史 (弘前大学人文社会科学部・准教授)	津軽塗に創造の余地を取り戻す—塗師・大学・地方公設試験研究機関の協働の試み
14:30-14:45	休憩	
14:45-15:20	葉山 茂 (弘前大学人文社会科学部・准教授)	地域とコミュニケーションする博物館展示をめざした結果：大学と行政と地域が協働して継続的なフィールドワークの場をつくる
15:20-15:55	内藤 直樹 (徳島大学総合科学部・准教授)	四国の山村でフィールドワークしてたら、国連 FAO@ローマにいた件：基礎自治体<職員>のニーズに応える研究の展開
15:55-16:10	休憩	
16:10-16:25	コメント 1	木村 周平 (筑波大学人文社会系・准教授)
16:25-16:40	コメント 2	白石 壮一郎 (弘前大学人文社会科学部・准教授)
16:40-17:40	総合討論 司会 パネリスト	高橋 憲人 (弘前大学教育学部附属ウェルビーイング研究センター・助教) 木村 周平 (筑波大学人文社会系・准教授) 白石 壮一郎 (弘前大学人文社会科学部・准教授) 辻本 侑生 (弘前大学地域創生本部・助教) 近藤 史 (弘前大学人文社会科学部・准教授) 葉山 茂 (弘前大学人文社会科学部・准教授) 内藤 直樹 (徳島大学総合科学部・准教授)
17:40-17:45	主催者挨拶・閉会	
総合司会	佐々木あすか (弘前大学人文社会科学部・助教)	

【協力】

科学研究費補助金 基盤研究 (B) ソーシャルデザインの人類学的研究：生活・地域・人をどう生み出すか (課題番号 21H00641) 代表：木村 周平

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 富の体現、再配分政治に対する実践とアセンブリ形成：アフリカ都市中間層ボトムの研究 (課題番号 22H03833) 代表：白石 壮一郎

科学研究費補助金 基盤研究 (C) 職人と地方公設試験研究機関の関係史から構想する津軽塗の多様性の復権と技術継承 (課題番号 22K01089) 代表：近藤 史

科学研究費補助金 基盤研究 (C) 漁業者のライフヒストリーにみる地域居住継続の要因 (課題番号 21K01075) 代表：葉山 茂